

デジタル技術で暗黙知を活用しよう！

Zoom開催

参加費無料

先端ものづくり技術交流セミナー

デジタルナレッジツインへの アプローチ

11.28 金
14:00 - 16:30

こんな方にオススメ

- ✓ ベテランの能力を周知したい
- ✓ 業務を効率化したい
- ✓ デジタル化に興味がある

勘やコツは可視化できる？ 最新の動向を紹介！

セミナー総括より

AI技術の飛躍的な進歩により、多くの業務が自動化される今、改めて注目を集めているのが「暗黙知(ナレッジ)」です。

長年の経験で培われた勘やコツ、言葉できないノウハウなどを、いかに活用するか。

第一線の実践者をお招きし、最新知見や事例を紹介ながら、アプローチします。

セミナー総括

北陸先端科学技術大学院大学 講師

伊集院 幸輝

同志社大学 工学博士取得。

2019-2022、国立研究開発法人 産業技術総合研究所で特別研究員。

2022からJAISTへ。

専門分野はヒューマンインターフェイス、認知科学。



申し込み先

二次元コードかメールにて申し込み

Email:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp



問い合わせ先

金沢市産学連携事業運営委員会
事務局(金沢市商工労働課内)

Tel:076-220-2205

デジタルSECIモデルによる暗黙知の可視化と生産性向上事例

Clipline株式会社 代表取締役社長 高橋勇人

製造業では生産性向上のための技術や仕組みが数多く確立されていますが、サービス業はその特性上、生産レバレッジがかかりにくく、知識や技術の伝承も容易ではありません。本講演では、現場のアイデアや知識などの暗黙知を動画という形式知に変換し、ナレッジシェアを通じて生産性向上につなげる方法を事例とともにご紹介します。

京都大学理学部、同大学院理学研究科修了。コンサルタントとして多数の多拠点展開企業の経営改革を主導し2013年に独立。AIの応用可能性を検証する一方で、サービス業の価値の源泉である人材の育成こそが真の生産性向上につながるという思想を持つ。

音声つばやきシステムによるナレッジマネジメント

北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授 内平直志

本発表では、暗黙的・潜在的な現場知識を音声で記録・共有する「音声つばやきシステム」について紹介します。点検・工場・農業・介護などの様々な現場適用で得られた効果を説明するとともに、現場知識の整理・活用に生成AIを活用する「デジタルナレッジツイン」の可能性もお話しします。

1982年東京工業大学理学部情報科学科卒。東京工業大学博士(工学)、北陸先端科学技術大学院大学博士(知識科学)取得。東芝研究開発センター技監を経て、2013年より北陸先端科学技術大学院大学教授。専門はデジタルイノベーションデザイン、ナレッジマネジメント。

人をハブにした知識の循環

サイバネットシステム株式会社 DXソリューション統括部 IoT/XRサービス部 西野貴志

本講演では、インダストリアルメタバースを活用した知識の可視化・共有について基礎的視点から検討します。産業分野での技能伝承・合意形成支援を目的としたタンジブルインターフェースの活用構想を紹介し、デジタルツインとの連携可能性を考察いたします。

黎明期のAR/VR技術に関心を持ち、2010年代より大手企業の実証事業を多数経験。デバイスやサービスが現場で活用できるレベルに達しつつあると感じ、2021年に現職へ移籍。現在は技術部長としてDX関連サービス開発販売、企業や大学官公庁との実証事業などを指揮。

申込締切

令和7年11月20日(木)

注意事項

メール申込の際はお名前、(所属の場合は)会社名、連絡先を記載ください。当日はZOOM参加になります。セミナー開始の15分前から入室可能です。金沢市または近郊に事業所がある、企業・個人事業主・研究開発機関、行政機関等が受講対象となります。お申し込みいただいた方には、今後金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。